

安 全 報 告 書



(2025 年度版)

北近畿タンゴ鉄道株式会社

1 はじめに

京都丹後鉄道は、上下分離体制により再認定された新たな鉄道事業再構築実施計画によりスタートをした年度でありました。

新たな鉄道事業再構築実施計画においても、鉄道施設、車両などを保有する弊社は、国や沿線自治体の皆様より御支援を頂き、設備更新や維持管理に取り組んできました。

京都丹後鉄道は、国や沿線自治体の御支援の下、弊社とWTとが連携し、乗車人数の増を目指して、一体となって取組を進めるとともに、弊社としては、その第三種鉄道会社としての役割である基盤整備に努め、安全な運行を支援してまいりますので、皆様の御理解と御支援をよろしくお願いします。

この報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保の取組や安全にかかわる情報を公表するものです。御一読くださり、御意見をいただければ幸いです。

2 安全に関する基本方針

社員一同安全第一の意識を持って、安全管理規程をはじめ各種規程を遵守するとともに、安全に関する行動規範に基づき、社内に安全風土、安全文化を構築します。

基本方針

当社は、安全に関する基本的な方針を次のように掲げ、社長以下社員全員に安全に係る行動規範として周知・徹底しています。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故、事故の恐れのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある事態が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を取ります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3 「安全への取組み」について

上下分離体制のもと、新たな鉄道事業再構築実施計画により令和 7 年度も鉄道施設等を保有する第三種鉄道事業者として、運行事業を担う第二種鉄道事業者の WILLER TRAINS(株)との間で締結した「鉄道施設等の使用及び管理等に関する契約書」に基づき、設備投資事業を行うとともに、鉄道施設及び車両の維持修繕を委託して実施しました。

鉄道施設の保守管理は当社が主体であることから、両社間で緊密な連携を図り、疑義あるごとに第二種鉄道事業者へ指示を行うとともに、毎月の実施状況報告を受けて安全性を確認しています。また、四半期毎に施設・電気・車両・財務の各種検査・補修状況・経費の執行状況の確認を行い、その都度、改善等期限を設け改善を指示し、指示事項については、改善報告により内容を確認しています。

さらに、外部有識者により構成する「安全評価外部委員会」及び沿線自治体等と安全に関する意見交換を行う「安全連絡協議会」において、更なる安全の向上を図るための評価・助言を受けて輸送の安全確保に万全を期しています。

【参考】

【第 20 回 安全評価外部委員会】

開催日：令和 7 年 10 月 2 日（木） 13:00～15:00

開催場所：北近畿タンゴ鉄道 会議室

開催概要・令和 7 年度運転事故等の発生状況、設備、車両修繕等の現状（WILLER TRAINS(株)）
・踏切安全対策、由良川架道橋防護工対策の取り組み（北近畿タンゴ鉄道(株)）

現地視察：令和 7 年 10 月 3 日（金） 9:30～10:30

視察場所：第 4 種踏切安全対策（試行）宮津線 第 3 小寺踏切道
防護工衝撃対策 宮津線 由良架道橋

【第 21 回 安全評価外部委員会】

開催日：令和 8 年 4 月 9 日（木） 13:00～15:00 ※スケジュール調整（4 月開催）

開催場所：WEB 会議

開催概要・令和 7 年度運転事故等の発生状況、設備、車両修繕等の現状（WILLER TRAINS(株)）
・冬期対応状況、踏切安全対策、架道橋防護対策の取り組み（北近畿タンゴ鉄道(株)）

現地視察：令和 7 年 4 月 9 日（木） 16:00～17:00

視察場所：第 4 種踏切安全対策（宮津線：新山踏切格上げ）

【令和 7 年度 安全連絡協議会】

開催日：令和 7 年 7 月 10 日（木） 10:00～11:10

開催場所：オンライン会議（WEB）

開催概要

- ・京都丹後鉄道 安全報告書について（WILLER TRAINS(株)・北近畿タンゴ鉄道(株)）
- ・安全性及びサービス水準に係るモニタリングについて

(1) 令和7年度の設備投資事業

国、京都府、兵庫県など沿線自治体の支援を受け、施設の改良・更新を行い、設備の保安度向上を図りました。

設 備	項 目	実 施 内 容
信号保安設備	踏切保安装置改良更新	西舞鶴駅～豊岡駅間（25箇所）
	H・AC軌道回路装置更新	宮津駅、天橋立駅（2駅）
	宮津線 継電連動更新	網野駅、久美浜駅（2駅）
	遠方信号機更新	網野駅、久美浜駅（4基）
保安通信設備	宮津線 通信ケーブル更新	与謝野駅～網野駅間（15.6km）
電 路 設 備	電灯柱コンクリート柱化	四所駅～コウノトリの郷駅間（26本）
	電気融雪器用絶縁変圧器更新	四所駅～豊岡駅間（25台）
線 路 設 備	PCマクラギ化	西舞鶴駅～豊岡駅間（1,069本）
	橋マクラギ合成化	宮津線 西舞鶴駅～峰山駅間（160本） 宮福線 荒河かしの木台駅～福知山市民病院口駅間（104本）
	軌道道床砕石化	宮津駅～かぶと山駅間（149.7m）
	レール交換（50N）	宮津駅～かぶと山駅間（934m）
	踏切格上げ	東雲駅～丹後神崎駅間 上油江踏切
	踏切改良	小天橋駅構内 平田踏切
	トンネル（覆工補強）	大江山口内宮駅～牧駅間（4トンネル）
	トンネル（セントル）	西舞鶴駅～四所駅間、久美浜駅～コウノトリの郷駅間（2トンネル）
	排水設備改良	与謝野駅～網野駅間（3箇所）
	橋りょう剥落対策	宮津線 網野駅～豊岡駅間（3橋りょう） 宮福線 辛皮駅～大江山口内宮駅間（辛皮橋りょう）
	橋りょう塗装（フッ素）	丹後神崎駅～丹後由良駅間（由良川橋りょう）
	ホーム嵩上げ（新型車両対応）	夕日ヶ浦木津温泉、豊岡駅（2駅）
	ホーム嵩上げ設計	峰山駅、網野駅、夕日ヶ浦木津温泉、久美浜駅、豊岡駅（5駅）
車 両	車両設計	特急車両
	運賃箱の更新（ワンマン車両）	普通車両（8両）
	車両保存費	全般検査（特急車両2両、普通車両3両） 重要部検査（特急車両2両、普通車両2両）

(2) 令和8年度の設備投資計画

国、京都府、兵庫県など沿線自治体からの支援により、施設の改良・更新を行って設備保安度の向上を進めてまいります。

設 備	項 目	実 施 内 容
信号保安設備	踏切保安装置改良更新	四所駅～久美浜駅間（30台）
	H・AC軌道回路装置更新	牧駅（15台）
	宮津線 継電連動更新	峰山駅、小天橋駅（2駅）
	遠方信号機更新	峰山駅、小天橋駅（4基）
保安通信設備	宮津線 通信ケーブル更新	京丹後大宮駅～夕日ヶ浦木津温泉駅間（11.2km）
電 路 設 備	電車線引留碍子更新	宮津線 宮津駅～天橋立駅間、宮福線 宮津駅～福知山駅間
	電気融雪器用絶縁変圧器更新	宮津線 宮津駅～天橋立駅間、宮福線 宮津駅～荒河基地間
線 路 設 備	PCマクラギ化	西舞鶴駅～網野駅間（1,201本）
	橋マクラギ合成化	宮津線 丹後神崎駅～丹後由良駅間 由良川橋りょう（221本）
	軌道道末碎石化	西舞鶴駅～網野駅間（200M）
	レール交換（50N）	丹後由良駅～栗田駅間（874m）
	踏切格上げ（4種→1種）	丹後大宮駅～峰山駅間 新山踏切
	踏切改良	丹後大宮駅構内 鯨踏切
	トンネル（覆工補強）	宮津線 西舞鶴駅～栗田駅間、宮福線 喜多駅～辛皮駅間
	排水設備	峰山駅～網野駅間（2箇所）
	橋りょう塗装（フッ素）	網野駅構内（福田川橋りょう）
	ホーム嵩上げ（新型車両対応）	網野駅（1駅）
	ホーム嵩上げ設計	四所駅、東雲駅、丹後神崎駅、丹後由良駅、栗田駅（5駅）
車 両	車両更新	特急車両
	車両保存費	全般検査（普通車両4両） 重要部検査（特急車両4両、普通車両1両）

4 令和7年度「安全に関する状況」について

令和7年度における当社施設の保守管理において、第三種鉄道事業者として報告すべき不具合、事故の発生はありませんでした。

令和6年度より連続して発生した、宮津線 丹後神崎～丹後由良駅間の由良架道橋防護工への通行車両衝撃対策として、警察・道路管理者・自治体様と弊社が一体となり制限予告ゲート（下記写真）を設置し、防護工への衝撃を未然に防止する対策を実施しました。

また、第3種・4種踏切に対する安全性向上の取り組みとして、第3種踏切の1種化、第3種・4種踏切への簡易安全対策（とまれ看板の設置）に取り組みました。引き続き、廃止検討、1種化、等、3種・4種踏切に対する安全性向上の取組みを進めてまいります。



宮津市側 制限予告ゲート



舞鶴市側 制限予告ゲート

冬期においては、大雪予報が度々発せられ1月、2月に3回の計画運休を実施、列車が駅間に停車する事象防止が図れました。京都・兵庫の北部エリアでは、1mを超える積雪を記録し、除雪機械（モーターロータリー）を活用した除雪により運転再開に取り組む中で除雪体制の更なる強化や情報発信、倒木対策などの課題を認識し、次期冬期に向けて、取り組みます。

（倒木状況）



1/22 天橋立・岩滝口間



1/31 与謝野・京丹後大宮間

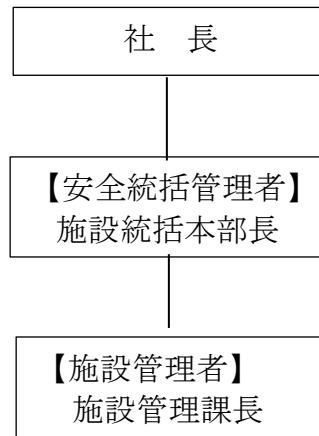


2/9 四所・東雲間

5 安全管理体制

社長を最高責任者とし、それぞれの管理者の責務及び権限を明確にしたうえで、それぞれが役割を担い、安全を推進します。

(1) 安全管理体制



(2) 管理者の役割

役 職	役 割
社 長	全社的な安全管理体制の確保及び安全意識の徹底を図り、輸送の安全の確保に関する最終責任を負う。
安全統括管理者 (施設統括本部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
施設管理者 (施設管理課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。

安全報告書の内容や当社の取組みについて、御意見をお寄せください。

連絡先 北近畿タンゴ鉄道株式会社

電 話 0 7 7 2 - 2 5 - 1 6 7 9

F A X 0 7 7 2 - 2 2 - 8 1 4 1

時 間 月～金 8：30～17：30(土・日・祝日を除きます。)